
CDP スコアリング基準変更点：2019 から 2020

CDP 気候変動 2020



1. イントロダクション

CDP 質問書やスコアリング基準の改訂は、最新のベストプラクティスを反映、促進したり、データの質と開示を改善することを目的としています。2020 年は可能な限り変更点を少なくするように努めており、変更点の多くは気候変動質問書 2020 の変更に伴うもの、また昨年の採点基準をより明確化するためのものです。

本書は、気候変動スコアリング基準 2019 からどのように各質問の採点基準に変更があったかを、変更度合いの大きさに関わらず示すものです。

2. 2019 年から 2020 年の変更点

質問番号	質問内容	2019 年からの変更 の度合い	変更内容の詳細とその根拠
C1 ガバナンス			
C1.1a	取締役会における気候関連課題の責任者の職位をお答えください (個人の名前は含めないでください)。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none">マネジメントレベルの採点基準を修正しました。2019 年のリーダーシップレベル採点基準 (ii) を 2020 年のマネジメントレベル採点基準としています。従って、マネジメントレベルの採点基準は、[説明してください] の欄に記載した内容が [個人の職位] 欄で選択した職位の内容と矛盾していない、かつ当該個人の責任がどのように気候関連課題と関連しているかを記載することが求められます。リーダーシップレベルの採点基準 (ii) を修正しました。採点基準 (ii) では、当該個人が、気候関連課題に関係して行った意思決定の事例を記載することが求められます。
C1.1b	気候関連問題の取締役会の監督に関して詳細を記入します。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none">マネジメントレベルの採点基準を修正しました。2019 年の採点基準 (ii) がなくなり、C1.1a でスコアリング対象となる情報との重複を避けています。2020 年のマネジメントレベルの採点は、[…頻度] の欄の選択肢の内容のみが対象となり、この基準の配点も 2 点から 1 点に変更されました。
C1.2	気候関連問題に責任を負う最高レベルの職位または委員会をお答えください。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none">リーダーシップレベルの採点基準の文言を変更し、「リーダーシップ レベルでポイントが付与されるには、マネジメントポイントが満点である必要があります。」とし、マネジメントレベルの最低基準を繰り返すことを避けています。

質問番号	質問内容	2019年からの変更の度合い	変更内容の詳細とその根拠
C1.2a	この職位または委員会が組織構造内のどこに位置するか、その責任の内容、および、どのように気候関連課題のモニタリングを行っているかをお答えください (個人の名前は含めないでください)。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> C1.2で[職位および/または委員会の名前]欄で[気候関連問題に対して管理職レベルの責任者がいません]を選択しても、情報開示ポイントが付与されるようになりました。2020年の情報開示レベルの採点基準では、回答を記載していれば得点となります。 認識レベルは採点対象外となりました。これはマネジメントレベルの採点基準との重複を避け、マネジメントレベルの評価に必要な情報の理解を深めてもらうためです。認識レベルの配点は0点となります。 マネジメントレベルの採点基準を修正しました。採点基準(i)では“自社固有の”記述は不要です。これは各職位や委員会の自社固有の説明をすることが難しいと考えられるためです。2019年の認識レベルの採点基準(ii)が2020年のマネジメントレベルの採点基準(ii)となりました。これはこの基準がマネジメントレベルにより相応しいと考えられるためです。配点は採点基準(i)と(ii)に割り当てられ、それぞれ1点ずつとなります。
C1.3	目標達成を含み、気候関連問題の管理に対してインセンティブを提供していますか？	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 認識レベルの採点基準を変更し、2020年質問書で導入された新しい選択肢に沿うよう、[いいえ、今後2年以内に導入予定もない]を除くいずれかの選択肢を選択した場合に得点となります。 マネジメントレベルの採点基準を変更し、2020年質問書で導入された新しい選択肢に沿うよう、[いいえ...]の選択肢を選択した場合にはいずれの場合も0点となります。
C1.3a	気候関連問題の管理に対して提供されるインセンティブについて具体的にお答えください (ただし個人の名前は含めないでください)。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルの採点基準が2020年質問書に沿うように変更となりました。C1.3で[いいえ]を選択していた場合、3点満点中0点が付与されていました。この選択肢がなくなり、C1.3で[いいえ、現在はまだだが、今後2年以内に導入予定]または[いいえ、今後2年以内に導入予定もない]を選択した場合、3点満点中0点となります。 認識レベルの採点基準が2020年質問書に沿うように変更となり、情報開示レベルの採点基準で求められる内容を繰り返すのではなく、情報開示レベルで満点かどうかでスコアリングされます。配点は3点のままですが、3つの採点基準それぞれに得点が付与されるのではなく、3点満点中0点が3点が付与されます。 マネジメントレベルの採点基準が2020年質問書に沿うように変更となりました。C1.3で[はい]以外を選択した場合、本質問は表示されないため、採点基準(i)は削除されました。従って今年は2つのマネジメントレベルの採点基準が設定されており、配点も3点から2点に変更されています。この2つの採点基準については、2020年質問書に沿い、重複を避けるために文言が昨年若干変更されています。
C2 リスクと機会			
C2.1b	御社では、事業に対する財務または戦略面での重大な影響を、どのように定義していますか。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルの採点基準では、回答が記入されていた場合、得点が付与されます。 認識レベルは採点対象外です。 マネジメントレベルの採点基準は、2019年の質問 C2.2b の、気候関連リスクを特定する際の重大な財務影響の定義に関連する採点基準を一部踏襲しています。2020年では、2つ目の採点基準で、財務や戦略面での重大な影響を定義するために用いる定量的な指標を回答いただくように変更しました。 リーダーシップレベルは採点対象外です。
C2.2	気候関連リスクおよび機会を特定、評価する、およびそれに対応するプロセスについて説明します。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 質問構成に変更があったため全ての採点基準を修正しました。 情報開示と認識レベルの採点基準は、回答が記入された欄や行の数に応じて得点が付与されます。

質問番号	質問内容	2019年からの変更の度合い	変更内容の詳細とその根拠
			<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレベルの採点基準は、2019年の質問 CC2.2d で物理的リスク／機会、移行リスク／機会のケーススタディを求める基準、および2019年の質問 CC2.2a の評価の頻度に関する採点基準を一部踏襲しています。さらに新たに採点基準を追加し、配点は5点となっています。 リーダーシップレベルの採点基準は、マネジメントポイントが満点である必要があり、特定の選択肢を選択している必要があります。2019年のいくつかの質問を統合しているため、配点は3点となっています。
C2.2a	御社の気候関連リスク評価において、どのリスクの種類が検討されていますか？	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示、認識、マネジメントレベルの配点が、2020 質問書の構成変更に伴い、5 点から4 点に変更されています。 マネジメントレベルの採点基準(ii)のタイプ A の回答は、C2.2 で回答する情報と重複していることやより回答しやすくするために削除されました。
C2.2g	なぜ、気候関連リスクと機会を特定、評価する、および対応するためのプロセスを導入していないのですか、また将来そのようなプロセスを導入する予定はありますか？	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレベルの配点が5 点から8 点に変更されており、得点可能な点数も5 点満点中2 点から、8 点満点中3 点に変更されています。 リーダーシップレベルの採点基準を、2020 年質問書に沿うように文言を変更しました。この質問の主旨は2019 年と同様です。
C2.3a	御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクを記入してください。	文言の軽微な変更 スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 認識レベルとマネジメントレベルの文言を2020 年質問書に沿うように変更しました。 マネジメントレベルの採点基準(iv)と(v)を統合し、採点基準(iv)として[自社固有の回答]に記載されているリスク内容に沿った、自社固有の活動やプロジェクト、製品／サービスの情報を含むケーススタディの記述を求める内容としました。2019 年の採点基準(vi)は2020 年の採点基準(v)になっています。採点基準(iii)と(v)は修正され、回答ガイダンスで指示されているような数値の内訳を含む記述をするよう明確化しました。 マネジメントレベルの配点が18 点から15 点に変更されています。 リーダーシップレベルの採点基準は、2020 年質問書に沿うように、若干の用語が変更されています。
C2.3b	なぜ、御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性がある気候関連リスクに、御社がさらされると考えないのですか。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレベルの採点基準は、2020 年質問書に沿うように、文言が若干変更されています。
C2.4a	御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるとして特定された機会の詳細を記入してください。	文言の軽微な変更 スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 認識レベルとマネジメントレベルの文言を2020 年質問書に沿うように変更しました。 マネジメントレベルの採点基準(iv)と(v)を統合し、採点基準(iv)として[自社固有の回答]に記載されている機会内容に沿った、自社固有の活動やプロジェクト、製品／サービスの情報を含むケーススタディの記述を求める内容としました。2019 年の採点基準(vi)は2020 年の採点基準(v)になっています。採点基準(iii)と(v)は修正され、回答ガイダンスで指示されているような数値の内訳を含む記述をするよう明確化しました。 マネジメントレベルの配点が18 点から15 点に変更されています。
C3 事業戦略			

質問番号	質問内容	2019年からの変更の度合い	変更内容の詳細とその根拠
C3.1c	御社は戦略策定のために、気候関連シナリオ分析をなぜ使用しないのですか。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレベルの採点基準(i)では自社固有の説明は不要となり、なぜ気候関連シナリオ分析を使用しないのかについて記載いただければ結構です。これは本質問では自社に固有の説明を記載するのが難しいと考えられるためです。
C3.1d	気候関連リスクと機会が御社の戦略に影響を及ぼしたかどうか、どのように及ぼしたかを説明します。	文言の軽微な変更 スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示、認識、マネジメントレベルの配点を、2020年質問書の回答表に沿うように、5点から4点に変更しました。情報開示、認識レベルの採点基準の文言を、2020年質問書の変更に沿うように変更しました。 マネジメントレベルの採点基準を、2020年回答ガイダンスに沿うように変更しました。マネジメントレベルの採点基準では、(2019年 C2.5のような)影響の大きさよりも、時間軸やタイムラインにより焦点を当てています
C3.1e	気候関連リスクと機会が御社の財務計画に影響を及ぼしたかどうか、どのように及ぼしたかを説明します。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルの配点が、7点(2019年 C2.6)から2点に変更になりました。採点基準は2020年質問書に沿うように変更しています。 認識レベルの採点は行われません。 マネジメントレベルの採点基準を、2020年質問書の回答表に沿うように変更しました。配点が3.5点も3点に変更しています。
C3.1f	気候関連リスクと機会が御社の戦略と財務計画にどのように影響を及ぼしたかに関する追加情報を記入します。(任意)	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 本質問への回答は任意で、採点対象外です。
C3.1g	気候関連リスクと機会はなぜ御社の戦略および/または財務計画に影響を及ぼさなかったのですか。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 本質問は認識レベルの採点は行われません。2019 認識レベルの採点基準(iii)はマネジメントレベルの採点基準となりました。
C4 目標			
C4.1a	御社の排出量総量目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。	文言の軽微な変更 スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルの配点が11点から12点に変更しました。 全てのレベルの採点基準の文言を2020年質問書の新規回答欄や文言の変更に沿うように変更しました。 マネジメントレベルの採点基準で、[報告年の目標の状況]欄で[取り下げ]、[入替]、[期限切れ]を選択した場合に得点が付与されないことを明確にしました。 電力事業セクターの場合、異なる基準で採点されます。電力事業セクターは、マネジメントレベルの採点基準を満たすためには、スコープ1のみ(スコープ1および2ではなく)を対象とした目標を回答する必要があります。
C4.1b	御社の排出量原単位目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。	文言の軽微な変更 スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルの配点が11点から12点に変更しました。 全てのレベルの採点基準の文言を2020年質問書の新規回答欄や文言の変更に沿うように変更しました。 マネジメントレベルの採点基準で、[報告年の目標の状況]欄で[取り下げ]、[入替]、[期限切れ]を選択した場合に得点が付与されないことを明確にしました。 電力事業セクターの場合、異なる基準で採点されます。電力事業セクターは、マネジメントレベルの採点基準を満たすためには、スコープ1のみ(スコープ1および2ではなく)を対象とした目標を回答する必要があります。
C4.2a	低炭素エネルギー消費または生産を増加させる目標の詳細を記入します。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示と認識レベルにおいて、回答した行やセルの数に応じて得点が付与されます。

質問番号	質問内容	2019年からの変更の度合い	変更内容の詳細とその根拠
			<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレベルでは、目標の達成度合いに従って得点が付与されます。
C4.2b	メタン削減目標を含むその他の気候関連目標の詳細を記入します。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 本質問（2019年 C4.2）は、情報開示と認識レベルで採点されるようになり、回答した行やセルの数に応じて得点が付与されます。
C-CO4.2c	C4.1a/b で報告したどの目標がメタン排出量を組み込んでいるかを示し、御社の石炭採掘活動に関してメタン特有の排出量削減目標を設定していない場合は、その理由を示し、今後5年間に御社のメタン排出量はどう変化するかを予想します。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 2020 回答ガイダンスに沿うように、情報開示とマネジメントレベルの採点基準を修正しました。
C4.3c	排出量削減活動への投資を促進するために御社はどのような方法を使っていますか。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> コメント欄はスコアリングしないという共通のアプローチに沿って、本質問では認識レベルを採点対象外としています。
C4.3d	報告年の間に積極的な排出量削減活動がなかった理由はなんですか。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 本質問では認識レベルを採点対象外としています。2019 認識レベルの採点基準がマネジメントレベルの基準に統合されました。 マネジメントレベルの採点基準を繰り返しを避けるために変更しました。
C-AC4.4/C-FB4.4 /C-PF4.4	御社所有の土地に対して、気候変動緩和および/または適応の恩恵がある農業または森林管理活動を実施していますか。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> 認識レベルの配点を1点から2点に変更し、気候変動緩和や適応に資する農業や森林管理活動を奨励しています。
C-CO4.6	御社の活動に由来するメタンについての排出削減活動を説明してください。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレベルの採点基準の文言を変更し、意図を明確にし 2020 回答ガイダンスに沿うようにしました。
C-EU4.6	御社の活動に由来するメタンについての排出削減活動を説明してください。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレベルの採点基準の文言を変更し、意図を明確にし 2020 回答ガイダンスに沿うようにしました。
C6 排出量データ			
C6.3	御社のスコープ2 全世界総排出量は CO2 換算で何トンでしたか。	スコアリングの修正	<ul style="list-style-type: none"> この質問で情報開示スコアを得点するためには、C5 モジュールで情報開示スコアを満点獲得する必要があります。
C6.5	御社のスコープ3 全世界総排出量について、除外項目の開示とともに説明してください。	文言の軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップレベルの採点基準が明確になるように文言を変更しました。スコアリングの判断根拠は昨年と同様です。
C-AC6.9a/C-FB6.9a /C-PF6.9a	開示するコモディティに対する御社の温室効果ガス排出量値を報告し、方法を説明し、例外分も含めて回答してください。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> 認識レベルの配点が5点から2点に変更になりました。
C6.10	報告年のスコープ1と2の合計全世界総排出量を、単位通貨総売上あたりの CO2 換算トン単位で詳細を説明し、御社事業に当てはまる追加の原単位指標を記入します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。 マネジメントレベルの採点基準で、質問書の他の部分での開示内容と重複しないよう、C4.3b の内容を参照するようにしています。
C-OG6.12	炭化水素カテゴリーの単位あたりのスコープ1 排出原単位 (CO2 換算トン)を回答してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。

質問番号	質問内容	2019 年からの変更 の度合い	変更内容の詳細とその根拠
			<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。 マネジメントレベルの採点基準で本質問に対する回答の成熟度を反映できるように変更しました。配点が 0 点から 2 点になりました。
C-OG6.13	御社のメタン排出量を、天然ガスおよび水素の生産量または処理能力の割合として報告します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C-ST6.14	御社の排出量とエネルギー原単位を鉄鋼生産工程経路別に回答してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C-TS6.15	スコープ 1、2 および 3 の輸送活動からの排出量に相応しい一次原単位(活動ベース)指標はどのようなものですか。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルの配点が 14 点から 7 点になりました。
C7 排出量内訳			
C7.1a	スコープ 1 総排出量の内訳を温室効果ガスの種類ごとに回答し、使用した地球温暖化係数(GWP)それぞれの出典も記入してください。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> スコアリング基準の一般的な文言に合わせるように、情報開示と認識レベルの文言に軽微な変更があります。認識レベルでは、計算のわずかな差を考慮できるよう、±5%の誤差範囲であれば認められます。
C7.2	スコープ 1 総排出量の内訳を国別/地域別で回答してください。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> スコアリング基準の一般的な文言に合わせるように、情報開示と認識レベルの文言に軽微な変更があります。認識レベルでは、計算のわずかな差を考慮できるよう、±5%の誤差範囲であれば認められます。
C-TO7.8	御社のスコープ 3 カテゴリー 11: 輸送についての販売した製品の使用からの間接排出に適した主な原単位指標を記入してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。配点が 16.5 点から 11 点になりました。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C7.9a	総排出量(スコープ 1 と 2 の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示します。	文言の軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントとリーダーシップレベルで、意図を明確にするために、文言に軽微な変更があります。採点の根拠は昨年と同様です。
C8 エネルギー			
C8.1	報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものですか。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> [不明]を選択した場合に減点するため、認識レベルまで採点するように変更しました。

質問番号	質問内容	2019年からの変更の度合い	変更内容の詳細とその根拠
C8.2a	御社のエネルギー消費量合計(原料を除く)を MWh 単位で報告してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 電力セクター別質問に回答する企業は、マネジメントとリーダーシップレベルが採点対象外です。
C-ST8.2a	鉄鋼生産活動に関する御社のエネルギー消費量合計(原料を除く)を MWh 単位で報告します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルの配点を 14 点から 12 点に変更しました。
C8.2c	御社が消費した燃料の量(原料を除く)を 燃料の種類別に MWh 単位で記入します。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレベルで、数値のクロスチェックは計算のわずかな差を考慮できるよう、$\pm 5\%$ の誤差範囲であれば認められます。
C8.2d	御社が報告年に生成、消費した電力、熱、蒸気および冷水に関する詳細を記入します。	文言の軽微な変更 スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 認識レベルの文言を変更しました。採点の根拠は昨年と同様です。 再生可能エネルギーの発電の評価を高くするため、リーダーシップレベルの採点基準を導入しました。
C-EU8.2d	御社の電気公益事業活動に関して、報告年の間の発電所合計能力、発電量、および関連する排出量の内訳を発生源別に記入します。	文言の軽微な変更 スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルの採点基準の文言を変更し、配点も 12 点から 14 点に変更しました。 マネジメントレベルの採点基準を 2020 年回答ガイダンスに沿うに変更し、低炭素発電源について追加しました。 リーダーシップレベルの採点基準を採用し、得点に傾斜をつけました。電力会社の低炭素発電の重要性を反映させるため、配点は 0 点から 3 点に変更になりました。
C8.2e	C6.3 で報告したマーケット基準スコープ 2 の数値において、ゼロ排出係数として計上した電力、熱、蒸気、および/または冷却量について詳細を記入します。	文言の軽微な変更 スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示、認識、マネジメントレベルの採点基準を、2020 年質問書の文言に沿うように変更しました。 情報開示レベルの配点を 5 点から 4 点に変更し、2020 年質問書の表構成の変更を反映しました。
C-TS8.2f	送配電グリッドからエネルギーを直接調達するすべての手段別配電に使用した平均排出係数の詳細を記入します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。配点が 8 点から 3 点になりました。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C-ST8.3	鉄鋼生産活動による原料消費について詳細を回答してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C-EU8.4a	御社の送電と配電事業に関する以下の情報を開示してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルの配点を 11 点から 9 点に変更し、2020 年質問書の表構成の変更に沿うようにしました。
C-TS8.5/C-T08.5	御社の輸送製品および/またはサービスに適合した 効率指標を記入します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。配点が 14 点から 8 点になりました。

質問番号	質問内容	2019 年からの変更 の度合い	変更内容の詳細とその根拠
			<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C9 追加指標			
C-OG9.2d	2P、3P 埋蔵量および総資源基盤に対して分けた暗示的な割合を炭化水素カテゴリー別に示します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルの配点が 6 点から 3 点に変更になりました。 情報開示レベルとの繰り返しを避け、3P 埋蔵量に関する機密性の問題を避けるために、認識レベルは採点対象外となります。
C-OG9.2e	1P、2P、3P 埋蔵量 および総資源基盤に関するパーセント参考値を開発タイプ別に記入します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルの配点が 10 点から 8 点になりました。 認識レベルで開示量に比例した採点を実施します。配点が 1 点から 2 点になりました。
C-TS9.3/C-TO9.3	報告年の間の低炭素輸送技術の実践に関する追跡指標を示します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。配点が 10 点から 5 点になりました。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C-CH9.3a	御社の化学品製品について詳述してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C-MM9.3a	御社の鉱業生産活動に関する詳細を示してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C-MM9.3b	御社の金属生産活動に関するコモディティの詳細を回答してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C-ST9.3b	御社の鉄鋼関連生産量と処理能力を製品別に回答してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。

質問番号	質問内容	2019 年からの変更 の度合い	変更内容の詳細とその根拠
C-CO9.4a	C-CO9.2a で埋蔵量データを記入するために、どの表示要件またはその他の方法を使用したかを説明します。特定国において、埋蔵量の数値を、法的制限のために報告できない場合、その旨ここで説明してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 認識レベルはスコアリング対象外となりました。
C-EU9.5a	発電源別の CAPEX と、その総計画上の CAPEX での割合を回答してください。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C-EU9.5b	製品およびサービスに対する CAPEX(資本支出)と、その総計画 CAPEX 上での割合を回答してください（例：スマートグリッド、デジタル化など）。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C-CO9.6a/C-EU9.6a /C-OG9.6a/C-CE9.6a /C-CE9.6a /C-ST9.6a/C-TS9.6a /C-TO9.6a	御社は、セクター活動に関連した低炭素製品またはサービスの研究開発(R&D)に投資しますか？	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示レベルで開示した量に比例してスコアリングされ、配点が 16 点から 3 点に変更されました。これは各セクター共通です。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、欄をすべて回答した一行ではなく、表のすべてのセル（報告年の R&D 投資額の欄を除く）を回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C-OG9.8b	注入および保存経路に従って、報告年中に CCS(炭素捕捉および貯蔵)の目的のために注入および貯蔵された CO2 の総質量を記入します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。 “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、認識レベルの採点基準で、表のすべてのセルを回答した場合に得点が付与されるようになりました。
C10 検証			
C10.1a	スコープ 1 排出量に対して行われた検証/保証の詳細を記入し、関連する検証報告書を添付します。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示、マネジメント、リーダーシップレベルの配点を 2020 質問書の変更に沿うように変更しました。 マネジメントレベルの採点基準(ii)が 2020 質問書の変更に伴い、スコープ 1 のみに関する基準となっています。
C10.1b	スコープ 2 排出量に対して行われた検証/保証の詳細を記入し、関連する検証報告書を添付します。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示、マネジメント、リーダーシップレベルの配点を 2020 質問書の変更に沿うように変更しました。 マネジメントレベルの採点基準(ii)が 2020 質問書の変更に伴い、スコープ 2 のみに関する基準となっています。
C10.1c	スコープ 3 排出量に対して行われた検証/保証の詳細を記入し、関連する検証報告書を添付します。	文言の軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> 正確性と一貫性を向上させるため、文言の軽微な変更を行いました。
C11 カーボンプライシング			

質問番号	質問内容	2019年からの変更の度合い	変更内容の詳細とその根拠
C11.1b	規制を受ける排出量取引制度ごとに、以下の表を記入します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 2020 質問書に沿うように、情報開示レベルの採点基準を変更し、配点を 6 点から 8 点に変更しました。
C11.1d	規制を受けている、あるいは規制を受けると見込んでいる制度に準拠するための戦略はどのようなものですか。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> より明確になるように、認識レベルの採点基準の文言を変更しました。 マネジメントレベルの採点基準を若干変更し、事例ではなくケーススタディを記載するように明確にしました。ケーススタディと事例の区別についてはスコアリングイントロダクションをご覧ください。
C11.3a	御社が社内カーボンプライスを使う方法の詳細を記入してください。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレベルの採点基準で、認識レベルが満点である必要があることを明確にしています。
C12 エンゲージメント			
C12.1a	気候関連のサプライヤーエンゲージメント戦略の詳細を記入します。	文言の軽微な変更 スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 2020 質問書の変更に沿うように、情報開示、認識、リーダーシップレベルの採点基準の文言を変更し、より明確にしました。 マネジメントレベルの採点基準の要件を変更し、2020 年の基準 (iii) では成功の指標に関連した気候関連サプライヤーエンゲージメントの影響の自社固有の説明を記載するように求めています。
C12.1b	顧客との気候関連エンゲージメント戦略の詳細を示します。	文言の軽微な変更 スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 2020 質問書の変更に沿うように、情報開示、認識、リーダーシップレベルの採点基準の文言を変更し、より明確にしました。 マネジメントレベルの採点基準の要件を変更し、2020 年の基準 (iii) では成功の指標に関連した気候関連の顧客エンゲージメントの影響の自社固有の説明を記載するように求めています。
C12.1d	バリューチェーンのその他のパートナーとの気候関連エンゲージメント戦略の詳細を示します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 本質問では認識レベルのスコアリングは実施されません。認識レベルの採点基準がマネジメントレベルの採点基準となり、評価の成熟度のレベルを反映させています。マネジメントレベルの配点が 1 点から 2 点に変更となりました。
C12.1e	気候関連問題に関して、なぜバリューチェーンのどの構成メンバーとも協働しないのですか、また将来、協働する計画の内容はどのようなものですか。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレベルの評価を受けるために、認識スコアを満点獲得する必要があります。マネジメントレベルの配点が 3 点に変更となり、No を選択したために減点となるように変更しました。 リーダーシップレベルの採点基準が変更になり、No を選択したために減点となるように変更しました。
C12.3f	政策に影響を及ぼす直接的および間接的活動のすべてが、御社の気候変動戦略と一致するように、どのようなプロセスを実践していますか。	軽微な変更	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレベルの評価基準が変更となり、より具体的で要求内容を明確化するようにしています。
C13 その他の土地管理影響			
C-AC13.1a/C-FB13.1a/C-PF13.1a	気候変動緩和/適応および管理対応に 他 のインパクトを持つ 管理活動に関する詳細を記入します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> 認識レベルの配点が 5 点から 3 点に変更になりました。
C-AC13.2a/C-FB13.2a/C-PF13.2a	気候変動緩和/適応に 他 のインパクトを持つ サプライヤーによって実施された 管理活動の詳細を記入します。	スコアリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> “行を追加”機能のある表形式の質問へのスコアリングの一般的なアプローチに沿うように、情報開示レベルで、開示した量に比例してスコアリングされます。配点が 0 点から 7.5 点に変更となっています。 認識レベルの採点基準で、選択肢に基づき開示した例に比例してスコアリングされます。配点は 0 点から 5 点に変更となっています。